

# 多糖類高分子プルランの体内動態と肝指向性

金尾義治, 中野貴透, 田中哲郎, 岩瀬宏樹, 上村智哉

薬剤学, 59(Supplement), 105(1999)

## Disposition and Liver Direction of Pullulan

Yoshiharu Kaneo, Takayuki Nakano, Tetsuro Tanaka,  
Hiroki Iwase, and Tomochika Uemura

**抄録** フルオレスセインイソチオシアネート (FITC) を用いFITC標識化プルランを合成した。標識体を静注し、臓器分布、尿・糞中排泄を測定した。プルランは静注後、血中に滞留し、投与後初期では肝、腎、肺、脾に分布した。肝への分布は長期にわたり、分布したプルランは徐々に低分子となることが明らかになった。プルランは未分解のまま胆汁中に排泄され、大腸内で低分子にまで分解された。肝取り込みクリアランスは低投与量ほど著しく高く、肝取り込みにおける非線形性が認められた。